



DSO参加機関 公開イベントのご案内

■産業技術総合研究所■

女子大学院生・ポスドクと産総研女性研究者との懇談会

【日 時】2016年11月21日（月） 13:00 - 17:00

【場 所】産業技術総合研究所 つくばセンター中央 共用講堂

【問い合わせ先・申込方法】 diversity-event-office-ml@aist.go.jp

詳しくは下記URLをご参照ください。

https://unit.aist.go.jp/diversity/ja/event/161121_div_event.html

【対象】女子大学院生・ポスドク（100名程度）

AIST 産総研女性研究者とポスドクとの懇談会
産総研女性研究者との懇談会
“希望、研究者を目指したい”と、明確なキャリアイメージを
お持ちの方はぜひぜひ、「自らの女性研究者の話を聞きたい”
など、ご興味をお持ちの方は、是非、ご参加下さい。

【日時】2016年11月21日（月） 13:00～17:00
【場所】産総研総合研究所 つくばセンター中央 共用講堂
（会場はつくば東1-1-1）

【対象】女子大学院生・ポスドク（100名程度）
【参加費】無料
【プログラム】
13:00～ 共用講堂にて受付
13:30～ 産総研紹介（研究環境、採用・給与制度、ダイバーシティの取組）
14:00-16:00 少人数に分かれての在職女性研究者との懇談会
16:00-17:00 ラボ見学等

【URL】https://unit.aist.go.jp/diversity/ja/event/161121_div_event.html

【イベント】前日の参加者へ、当日午前中にイベントメールもご用意致しました。
① 09:30-09:55 サイエンス・スクエア留学（招待付）
② 10:00-11:15 サイエンス・スクエア留学（推薦から過去の巨大地震を視察する）
③ 11:30-12:00 産総研研究センター（211号館）
懇談会参加申し込みの際に、①～③（複数選択可）をご指定の上お申し込み下さい。

【申し込み】11月14日（月）までに下記をメールにてお申し込み下さい。
宛 先: diversity-event-office-ml@aist.go.jp
件 名: 産総研懇談会(11/21)参加申し込み
氏 名: ○○
所 属: ○○女子大学院○○学術院○○専攻博士課程○年など
当日連絡先: E-メールアドレスと携帯番号
興味を持っていらっしゃる分野:
産総研への関心（もしあれば）:
イベントへの参加希望: ①～③（複数選択可）をご指定下さい。

お役立ち情報

■各種シンポジウム■

HIV発見でノーベル賞受賞 バレシヌシ博士の講演とシンポジウム

HIVの発見により2008年ノーベル生理学賞・医学賞を受賞したフランス、パスツール研究所の Françoise Barré-Sinoussi博士により、彼女の研究者としてのキャリア、若い世代への期待などについての講演がなされます。

東京

【日 時】2016年11月8日（火） 基調講演10:30 - 11:30 シンポジウム 14:00-15:30

【場 所】東京大学伊藤国際学術研究センター

【申込方法】下記URLから。

www.coac.co.jp/npiitokyo/npj.html

京都

【日 時】2016年11月9日（水） 基調講演10:30 - 11:30 シンポジウム 14:15-15:30

【場 所】京都大学芝蘭会館

【申し込み方法】下記URLから。

www.coac.co.jp/npiikyoto/npj.html

イベント開催報告

■ 森林総合研究所 ■

第21回エンカレッジ推進セミナー

安全衛生の基本は健康管理 ～意外と知らないカラダのしくみ～

【日時】 10月5日（水曜日）13時30分～15時00分

【場所】 森林総合研究所本館2階 大会議室（支所等へのTV会議中継あり）

【講師】 特定非営利活動法人 日本成人病予防協会 事務局 参与 前山 雄次 氏

講演の序盤で先生から発せられた質問は、「もし、死に方を選べるとしたら、どのような最期を迎えたいですか？」という、ちょっとドキッとするものでした。現在の日本人の死因の上位は、（1）悪性新生物（がん）、（2）心疾患、（3）肺炎、（4）脳血管疾患、です。（1）～（4）で亡くなる人が全体の3分の2を占めており、多くの方が希望する「老衰」による最期を迎えられるのは、100人のうち6～7人とのこと。たしかに、自分の祖父母や知人のことを思い出してみても、いわゆる「PPK（ぴんぴん・ころり）」だった人は、少ないように思います。



「がん」、「免疫」、「動脈硬化」、「コレステロール」など、言葉は知っていても、その意味やメカニズムを正確に理解し、説明できる人は少ないのではないのでしょうか。特に興味深かったのが、LDL（悪玉）コレステロールとHDL（善玉）コレステロールについてのお話です。コレステロール（脂）は細胞膜の材料となる重要なものですが、多すぎると血管にたまって血管内腔が狭くなり、動脈硬化につながります。LDL＝体のあちこちでの新陳代謝に必要な脂を肝臓から血管という道路を通して運ぶトラック、HDL＝血液中にこぼれてしまった脂を回収して肝臓に運ぶトラック、という例えはとてもイメージしやすく、よく理解できました。数値そのものよりもLDLとHDLの比が重要とのことですので、みなさんも今年の健康診断結果を確認してみてもいいのではないでしょうか。

忙しくて無理せざるを得ないような時もありますし、ときには体に良くなさそうなものを食べたくなったり飲み過ぎてしまったりすることもあると思いますが、自分のカラダの状態に気を配り、カラダの中で何が起きているのかを意識しながら食事をしたり運動したりすることで、取り返しのつかなくなる前の改善につながるのではないかと思います。できるだけ永く健康な自分のカラダと付き合っていくために、まずはカラダのしくみについて理解を深めることの重要性を感じました。

（ダイバーシティ推進室 松村ゆかり）



男女共同参画学協会連絡会シンポジウム参加報告

2016年10月8日(土)、お茶の水女子大学で開催された第14回男女共同参画学協会連絡会シンポジウムに参加しました。午前中には、「Unconscious biasについて考える」と「女性のための賞の創設～その意義を考える～」の2つの分科会があり、前者に参加しました。

沖縄科学技術大学院大学のDilworth Machi先生による、「Unconscious biasと女性研究者の活躍」と題した講演では、どのような人間でも気づかぬうちに潜在的な偏見を持つというお話でした。そのため、人材登用、成果の評価等の場面においては、担当者はそのことを自覚しておく必要があるということ、また、研究者自身にもそういった思い込みがあるということを知ることが重要であるということが述べられました。その後、米国におけるそれに対する取組や研修、特にウイスコンシン大学マディソン校 (<http://wiseli.engr.wisc.edu/>) の取り組みが紹介されました。また、森永製菓の宮井真千子氏による「企業におけるunconscious bias」と題するご講演がありました。企業ではダイバーシティ推進には社員の意識を変える必要があります、そのためにはエネルギーが必要で、トップにも研修を受けてもらう必要があるというお話をされました。



午後には、女性研究者を増やすための、産学官の国内の取組と、アメリカ、イギリス、韓国の事例について紹介があり、パネルディスカッションが行われました。パネルディスカッションの最後に、情報共有のためには、組織間の横のつながりが重要であるという、結論で締めくくられ、改めてDSOの重要性を認識しました。30部ほど持参したDSOのパンフレットは、すべてなくなりました。シンポジウムに関する情報は男女共同参画学協会連絡会のホームページ (<http://www.djrenrakukai.org/symposium1.html>) でご覧になることができます。

(ダイバーシティ推進室長 安部久)

ダイバーシティサポートオフィスのご案内

ダイバーシティ・サポート・オフィス(DSO)は、研究教育19機関をメンバーとして、平成19年より男女共同参画を連携して推進しています。参加機関相互のイベント等の機会提供、情報交換を行っています。当初は、科学技術振興調整費の支援を受けてスタートしましたが、現在はイコールパートナーシップでメンバーが対等に運営する、より開かれたDSOとして活動しています。

*DSOメンバー：産業技術総合研究所、森林総合研究所、物質・材料研究機構、農業・食品産業技術総合研究機構、千葉大学、筑波大学、神戸大学、土木研究所、国立環境研究所、国際農林水産業研究センター、防災科学技術研究所、高エネルギー加速器研究機構、理化学研究所、宮崎大学、上智学院、岡山大学、宇宙航空研究開発機構、大阪大学(加入順)

「DSO News Letter」は各DSO参加機関へ、それぞれの機関で働く方へ、また広く外部に向けて情報発信するツールとして発行しております。当Letterの紹介も歓迎いたします。バックナンバーはDSOホームページにてご覧いただけます。